

利用のご案内

- 開館時間／午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)
- 休館日／月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)及び年末年始(12月29日から1月1日まで)。ただしGW中(4月29日[金]～5月5日[木])及び水戸の梅まつり期間中は無休
- 臨時休館／4月19日[火]、6月21日[火]～23日[木]、9月21日[水]～30日[金]、10月18日[火]～21日[金]、12月20日[火]～23日[金]、2月14日[火]

入場料	()内は20名以上の団体料金			
	一般	満70歳以上	高大生	小中生
若冲と京の美術 京都 細見コレクションの精華	1,210円 (1,100円)	600円 (550円)	1,000円 (870円)	490円 (370円)
どっちがどっち? いわいとしお×岩井俊雄 —「100かいたてのいえ」とメディアアートの世界—	1,000円 (870円)	500円 (430円)	730円 (610円)	370円 (240円)
令和4年度 茨城県芸術祭美術展覧会	800円 (720円)	800円 (720円)	大学生 800 (720円)	高校生 以下 無料
辻 永 ふたつの顔を持つ画家 油彩と植物画	730円 (610円)	360円 (300円)	490円 (370円)	240円 (180円)
戦後日本版画の展開 —照沼コレクションを中心に	610円 (490円)	300円 (240円)	370円 (320円)	240円 (180円)
速水御舟展	1,100円 (1,000円)	550円 (500円)	870円 (730円)	490円 (370円)
所蔵作品展	320円 (240円)	160円 (120円)	240円 (180円)	180円 (120円)

- ※企画展をご覧の方は、同日中に限り所蔵作品展が無料になります。
- ※土曜日は、高校生以下は無料です(中学生の方は、生徒証をご持参ください)。ただし、夏季・冬季及び学年末・学年始における学校の長期休業日に当たる期間は除きます。
- ※茨城県民の日(11月13日[日])はすべての方が無料です。
- ※以下の方は無料で展覧会をご覧いただけます。
 - ・教育課程に基づく教育活動の一環として入館する県内所在の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校(※県外を含む)の児童生徒並びに引率者、教育課程に基づく教育活動の一環として入館する県内幼稚園の幼児の引率者
 - ・国際交流事業として、国外から本県内の学校等に留学している方
 - ・児童福祉法の規定に基づく児童福祉施設、老人福祉法の規定に基づく老人福祉施設及び障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律の規定に基づく障害者支援施設に入所している方並びに付き添いの方(1人につき付き添い1人まで)
 - ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は指定難病特定医療費受給者証の交付を受けている方並びに付き添いの方(1人につき付き添い1人まで)
 - ・生活保護法による扶助を受けている方
- ※満70歳以上の方が無料となる高齢者無料入館日は次のとおりです。
 - ・若冲と京の美術：5月28日(土)
 - ・戦後日本版画の展開：1月21日(土)
 - ・速水御舟展：3月11日(土)

県立美術館共通年間パスポート(購入日より1年間有効)
 一般3,150円、高大生2,100円、小中生1,050円
 茨城県近代美術館、茨城県天心記念五浦美術館、茨城県陶芸美術館の各美術館が主催する展覧会で、1年間に何回でもご利用いただけます。ただし、茨城県芸術祭美術展覧会(近代美術館)、貸しギャラリー展(つくば美術館・天心記念五浦美術館・陶芸美術館)は除きます。

友の会
[年会費] 一般3,000円、学生2,000円、ファミリー会員5,000円、特別会員(個人・法人)20,000円
 茨城県近代美術館と茨城県天心記念五浦美術館共通の会です。両館主催の展覧会はいつでも無料。各美術館の企画展やイベント、友の会独自の催し物のご案内をお送りします。その他の特典や申込方法は、友の会事務局までお問い合わせください。

日時指定WEB整理券
 企画展の展示室入場は【日時指定WEB整理券】をお持ちの方が優先となります。当館HPから事前に取得してください。

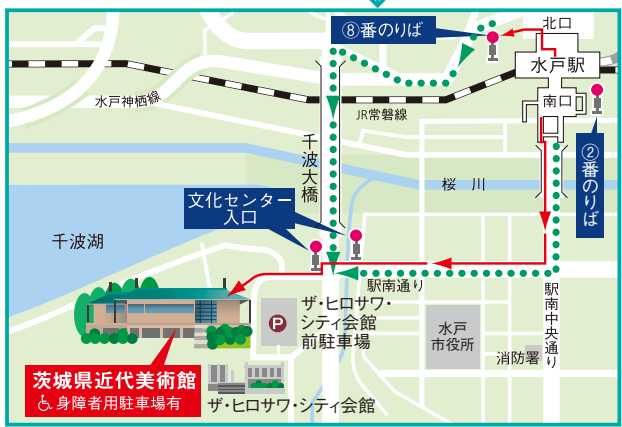
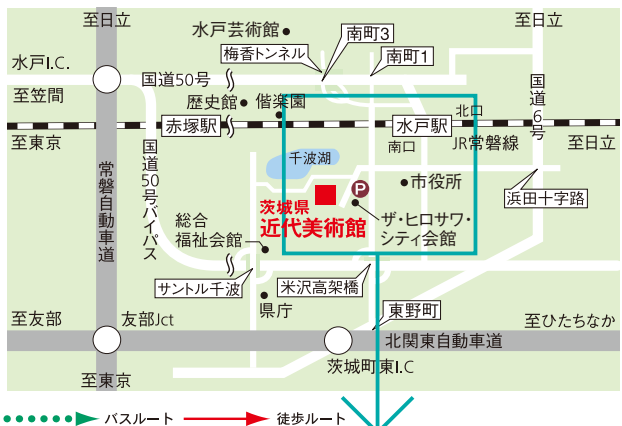
- ※注意事項
 - ・観覧券(チケット)は別途必要になります。当日、総合受付にてご購入ください。
 - ・招待券、年間パスポート等をお持ちの方も優先入場のためには事前取得をお願いします。
 - ・事前取得をされなくてもご入場になれます。その場合は総合受付の前で優先入場の完了までお待ちいただきます。
 - ・予約した時間以外にお越しの場合は、「一般入口」の列にお並びください。

交通のご案内

- 【電車・高速バスをご利用の場合】
- 水戸駅まで
 - ◎電車／①東京駅からJR常磐線特急で約1時間
②宇都宮駅からJR宇都宮線・JR水戸線で約2時間
③いわき駅からJR常磐線特急で約1時間
 - ◎高速バス／①東京駅八重洲南口バスターミナルから約2時間
②茨城空港から約40分
③宇都宮駅から約2時間
- 水戸駅から
 - ◎徒歩／水戸駅南口から約20分
 - ◎バス／水戸駅北口⑧番または南口②番(平日のみ)のりばから乗車約5分、「文化センター入口」にて下車
 - ◎タクシー／水戸駅南口から約5分

【車をご利用の場合】
 常磐自動車道／水戸ICから国道50号バイパス経由、約20分
 北関東自動車道／茨城町東ICから約15分

■駐車場のご利用
 当館正面の「ザ・ヒロサワ・シティ会館前駐車場」をご利用ください。
駐車料金：普通車420円/マイクロバス840円/大型バス1,570円
 ※駐車場入口で、取得した日時指定WEB整理券を提示することで、**駐車場を無料でご利用いただけます(予約当日、来館時のみ)。**
 ※当館総合受付にて入館券をお求めの際、レシートと引換えに駐車料金をご返金いたします。



茨城県近代美術館

〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保666-1
 TEL:029-243-5111 FAX:029-243-9992
 E-mail: info@modernart.museum.ibk.ed.jp
 URL http://www.modernart.museum.ibk.ed.jp/



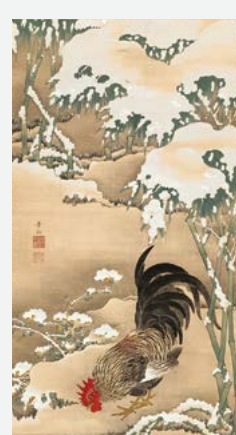
当館の普及・広報事業は全くの収益金で実施されています。

2022年3月発行

茨城県近代美術館 展覧会・イベント スケジュール 2022年4月—2023年3月

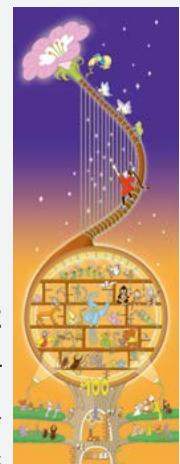
The Museum of Modern Art, Ibaraki Exhibition Information

Apr. 2022 → Mar. 2023



若冲と京の美術
 京都 細見コレクションの精華
 (2022.4.23~6.12)

伊藤若冲「雪中雄鶏図」
 江戸中期
 ※展示期間：4.23~5.15



どっちがどっち?
 いわいとしお×岩井俊雄
 —「100かいたてのいえ」と
 メディアアートの世界—
 (2022.7.2~9.19)

いわいとしお
 「100かいたてのいえ」(借成社)より
 2021年



辻 永 ふたつの顔を持つ画家
 油彩と植物画
 (2022.10.25~12.11)

辻永「銅はれたる山羊」
 1910年
 当館蔵

戦後日本版画の展開
 —照沼コレクションを中心に
 (2022.12.24~2023.2.5)



駒井哲郎「東の間の幻影」
 1951年
 当館蔵



速水御舟展
 (2023.2.21~3.26)

速水御舟「牡丹」
 1926年
 遠山記念館蔵

施設紹介

茨城県近代美術館は、1988年、借来園の眼下に広がる千波湖のほとりに開館しました。2階には企画展示室、1階には所蔵作品展示室及びアートフォーラム、地階には講堂や講座室があり、さまざまな展覧会やイベントを行っています。また、館内はバリアフリーに配慮したつくりになっているほか、ミュージアムショップやレストランもありますので、安心して楽しくご利用いただけます。
 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休館となる場合があります。最新の情報はホームページ等でご確認ください。

■アートフォーラム
 子どもから大人まで楽しめる無料のスペースです。

【展示コーナー】
 解説パネルや画材などを展示しています。

【映像コーナー】
 所蔵作品の紹介映像や、パソコンのお絵かきソフトなどを楽しめます。

【図書コーナー】
 美術関係の図書や雑誌を閲覧いただけます。

■中村彝アトリエ
 大正期に活躍した水戸市出身の洋画家中村彝(1887-1924)の東京都新宿区下落合にあったアトリエを、当館敷地内に新築復元し、公開しています。

【開室時間】
 火～金曜日:午後1時～午後3時
 土・日・祝日:午前10時30分～午後3時

【休室日】
 当館休館日に同じ
 *そのほか臨時に休室する場合があります。

イベント紹介

年間をとおして様々なイベントを実施しています。
 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントが延期・中止となる場合があります。最新の情報はホームページ等でご確認ください。

■講演会
 展覧会ごとに多彩な講師をお迎えして開催します。

■鑑賞講座
 企画展の見どころを当館学芸員が紹介します。

■ようこそ！美術の森へ—学芸員と巡るコレクション
 所蔵作品展を鑑賞しながら語り合う、対話型のギャラリートークです。所蔵作品展チケットをご用意ください。
 【実施日】毎月第3土曜日 【時間】午前11時～(約30分)

■コレクションミニガイド
 展示解説員が毎日、所蔵作品展をわかりやすくご案内しています。所蔵作品展チケットをご用意ください。

■家族でわくわくミュージアム
 乳幼児・小学生を含むご家族で楽しむ、対話型の作品鑑賞会です。各所蔵作品展会期中に2回程度開催。所蔵作品展チケットをご用意ください。

■オリエンテーション
 団体でご来館の際には、展覧会見学前に当館について簡単にご案内します。ご希望の場合は事前にご連絡ください。

■ミュージアムコンサート
 講堂またはエントランスホールにて、不定期で開催しています。

■子どものためのワークショップ
 子ども向けのワークショップを年2回開催します。



企画展鑑賞講座

ミュージアムコンサート

子どものためのワークショップ

展覧会のご案内 Exhibition Information [2022.4~2023.3]

企画展
茨城県近代美術館

4月 Apr 5月 May 6月 Jun 7月 Jul 8月 Aug 9月 Sep 10月 Oct 11月 Nov 12月 Dec 1月 Jan 2月 Feb 3月 Mar

みやこ
若冲と京の美術
京都 細見コレクションの精華
4月23日(土)→6月12日(日)



伊藤若冲「糸瓜群虫図」江戸中期
※展示期間:5.17~6.12

どっちがどっち? いわいとしお×岩井俊雄
—「100かいたてのいえ」とメディアアートの世界—
7月2日(土)→9月19日(月・祝)



いわいとしお
「100かいたてのいえ」
シリーズより
2008年~



岩井俊雄「映像装置としてのピアノ」1995年

令和4年度
茨城県芸術祭美術展覧会
10月1日(土)→10月16日(日)

ひざし
辻 永 ふたつの顔を持つ画家
油彩と植物画
10月25日(火)→12月11日(日)



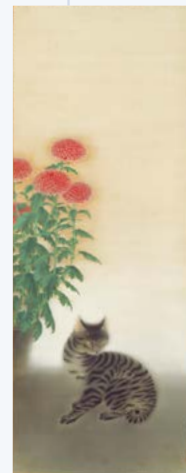
辻永「ブルーの秋」1920年 当館蔵

戦後日本版画の展開
—照沼コレクションを中心に
12月24日(土)→2月5日(日)



清宮質文
「トバース」
1963年
当館蔵

速水御舟展
2月21日(火)
→3月26日(日)



速水御舟「菊に猫」
1922年
豊田市美術館蔵

※「速水御舟展」は企業パートナーからのご支援をいただいています。

所蔵作品展

日本の近代美術と
茨城の作家たち
冬から春へ
→4月17日(日)

小川芋銭
「春日遅々(魚鳥と童子)」
1934年

日本の近代美術と
茨城の作家たち
春から夏へ
4月20日(水)→6月19日(日)



日本の近代美術と茨城の作家たち 夏
(前期)6月24日(金)→8月7日(日) (後期)8月9日(火)→9月19日(月・祝)
※8月8日(月)に一部展示替え



中村彝「静物」1919年



横山大観「月満山」1937年
※後期のみ展示

日本の近代美術と
茨城の作家たち 秋から冬へ
10月22日(土)→12月18日(日)



菱田春草「砧」1905年頃

日本の近代美術と茨城の作家たち 冬から春へ
(前期)12月24日(土)→2月12日(日) (後期)2月15日(水)→4月9日(日)
※2月13日(月)、14日(火)に一部展示替え



オーギュスト・ルノワール
「マドモワゼル・フランソワ」
1917年



片岡球子
「春の富士(梅)」
1988年
※後期のみ展示

木村武山
彩色杉戸絵
→4月17日(日)

木内克
「女」
1956年

生誕130年 木内 克
4月20日(水)→6月19日(日)

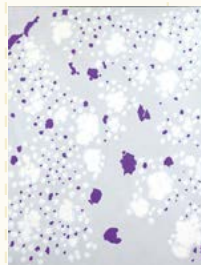


視覚のふしぎ
6月24日(金)→9月19日(月・祝)



湯原和夫
「作品No1-77」
1977年

新収蔵作品を中心に
10月22日(土)
→12月18日(日)



中西夏之
「擦れ違いVS字型還元」
2011年
©NATSUYUKI NAKANISHI
撮影者:宮島 啓

熊岡美彦とその時代
12月24日(土)→2月12日(日)



熊岡美彦「緑衣」1925年

木村武山 彩色杉戸絵
2月15日(水)→4月9日(日)



木村武山「杉戸絵(白菊園)」1918~19年頃

企画展紹介

若冲と京の美術 京都 細見コレクションの精華

2022年4月23日(土)~6月12日(日)
日本美術の各時代を網羅する名品を数多く所蔵する京都・細見美術館。同館の所蔵品から、今日高い人気を誇る京の絵師、伊藤若冲(1716-1800)の作品をはじめ、桃山・江戸時代の名所・祭礼図や琳派などの絵画作品から茶の湯の美術まで、重要文化財を含む貴重な作品の数々を紹介いたします。

どっちがどっち? いわいとしお×岩井俊雄
—「100かいたてのいえ」とメディアアートの世界—
7月2日(土)~9月19日(月・祝)

画期的なタテ開きの絵本「100かいたてのいえ」シリーズが人気の絵本作家・いわいとしお。作品を見る人の驚きや喜びを追い求め、人間とテクノロジーの関係を見つめてきたメディアアーティスト・岩井俊雄。一見すると別人格に見える、いわいとしお×岩井俊雄の創作の源泉はどこにあるのか。絵本の原画やメディアアート、てづくりおもちゃなど多彩な作品を展示し、少年時代からの創作の軌跡を詳しく紹介します。

令和4年度茨城県芸術祭美術展覧会

10月1日(土)~10月16日(日)
茨城県、茨城県教育委員会、茨城文化団体連合等が主催する全県的な公募展です。日本画・洋画・彫刻・工芸美術・デザイン各部門の入選作品を展示します。
※書・写真部門はザ・ヒロサワ・シティ会館で展示します。

辻 永 ふたつの顔を持つ画家 油彩と植物画
10月25日(火)~12月11日(日)

水戸で育った辻永(1884-1974)は、大正から昭和の洋画壇に確固たる地位を築く一方、少年の頃から植物画を愛し、生涯にわたって2万枚以上ともいわれる植物画を描き続けました。本展では、辻の油彩画約50点と、発表目的ではなく純粋な楽しみや心の慰めとして描いた植物画約60点により、ふたつの顔を持つ辻の本質に迫ります。

戦後日本版画の展開—照沼コレクションを中心に
12月24日(土)~2023年2月5日(日)

当館では2007年度以降、県内のコレクター・照沼毅陽氏から総数約600点に及ぶ戦後日本の版画作品を寄贈していただきました。清宮質文、駒井哲郎、浜田知明といった作家たちを含むすぐれたコレクションが加わることで、当館の版画コレクションは、はるかに充実したものとなりました。本展は照沼コレクションを中心に戦後日本版画の魅力を紹介するものです。また感謝の意を込め、2021年に逝去された照沼氏に捧げる展覧会ともいたします。

速水御舟展

2023年2月21日(火)~3月26日(日)

僅か30年という短い画家活動ながら、近代日本画の流れを牽引し続けた速水御舟(1894-1935)。その画風は生涯を通じて大きく変遷し、大正期の細密描写による写実表現から、古典的な絵画理念への回帰を経て、平面性と装飾性を伴う後期作品へと至ります。本展では、常に対象の真実に迫ろうとした御舟の画業を4章にわけて辿ります。

所蔵作品展紹介

日本画の横山大観、小川芋銭、洋画の中村彝、彫刻の木内克など郷土の作家を中心とした日本の近代美術と、彼らに影響を与えた西洋美術を季節やテーマによって作品を入れ替えてご紹介します。



展示室1



展示室2

他館インフォメーション

茨城県天心記念五浦美術館

〒319-1703 北茨城市大津町椿2083
TEL:0293-46-5311 FAX:0293-46-5711
URL http://www.tenshin.museum.ibk.ed.jp/

茨城県つくば美術館

〒305-0031 つくば市吾妻2-8
TEL:029-856-3711 FAX:029-856-3358
URL http://www.tsukuba.museum.ibk.ed.jp/

茨城県陶芸美術館

〒309-1611 笠間市笠間2345(笠間芸術の森公園内)
TEL:0296-70-0011 FAX:0296-70-0012
URL https://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/

茨城県天心記念五浦美術館

おいでよ!
花鳥画の世界
→4月17日(日)
※展示室B・C

箱根・芦ノ湖 成川美術館コレクション展
~花愛でるどころ、恋の詩とともに~
4月27日(水)→6月26日(日)

並河靖之の雅な技
世界を魅了した明治の京都七宝
7月9日(土)→9月25日(日)

再興院展の立役者 齋藤隆三
10月8日(土)→11月27日(日)

のぞいてみよう!!
東京美術学校課題画展
12月10日(土)→2月5日(日)
※展示室A

旅するチバラキ
~連作《水郷めぐり》の全貌~
2月10日(金)→4月23日(日)
※展示室A

茨城県陶芸美術館

北澤美術館名品展
エミール・ガレとドーム
→5月8日(日)

井上雅之 描くように造る
6月11日(土)→8月28日(日)

笠間焼250年記念
欲しいがみつかる・うつ展Ⅱ—笠間と益子—
9月17日(土)→12月11日(日)

生誕150年記念 板谷波山の陶芸
1月2日(月・祝)→2月26日(日)

フィンランド・ガラスアート
輝きと彩りのモダンデザイン
ルミンの食卓とコンヴィヴィアル
3月18日(土)→6月11日(日)

※日程や内容などが一部変更になる場合がありますが、あらかじめご了承ください。